

公設学習塾 ポプラアカデミー

さらなる連携への期待

立科町ならびに町内企業の協力を得て、本校合宿所に公設学習塾「ポプラアカデミー」が設立されたのは、平成二十七年五月のことでした。立科町運営の公設学習塾として、町の人的・経済的支援のもと、設立から5年の歳月を数えます。この間、本校生と立科中学生が、放課後ポプラに集い、それぞれの夢や希望に向かって共に学んでいます。

日々4名の講師陣が個別指導をベースとして指導にあたり、塾生一人ひとりの要望やニーズを丁寧に汲みとり、基礎学力の定着はもとより、英語検定や漢字検定など資格



英会話教室

取得に向けての学習支援、英会話教室や町の国際交流事業（オレゴン州）との連携、さらには大学受験に向けた発展的学習支援まで、幅広く多様な指導を展開しています。高大接続改革が進み、高校生の目線で地域に課題意識を持ち自分で考えて課題解決のために行動する、その経験や実績こそが、従来の学力と同等以上に進学への必須条件となってきました。「地域」や「蓼科学」での学びを通して、例えば立科町

をはじめ上田佐久、長野県を捉え直して、自身の研究テーマとする探究者生徒がポプラに集う可能性も今後大いに考えられます。その営みには、未来をより自分らしく生きる術や地域をより元気にするヒントがきつと多く含まれていると期待も高まります。今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ポプラアカデミーの学習風景



教室等に空調設備導入される

令和二年六月に普通教室、図書館、主な特別教室に空調設備が導入されました。

近年は例年のように猛暑に見舞われ、夏季の健康管理が大きな課題となっていました。が、今後は快適な環境で学習に励むことが可能となります。

ただ、現在の新型コロナウイルス禍の中、十分な換気が必要となるため、温度調整や蜂など虫の侵入防止などに注意を払いながら使用しています。

特に今年は、校舎敷地内に例年より多くの蜂の巣

がかけられ、スズメバチの巣も四つを発見し、その都度駆除業者に処理をお願いしているところです。業者の話によると梅雨が続いたこと、その後の猛暑によりいつもより巣を作る時期が遅くなっているとのこと、しばらくは注意が必要です。

【編集後記】

コロナ禍の中、すべてが手探りの中での学校生活ですが、生徒たちはそれぞれ自分なりに受け止め、折り合いをつけて学習や諸活動に臨んでいることと思います。

そのような中で、生徒会役員を中心とした朝の「あいさつ運動」が活発に行われ、昇降口からは毎日元気な声が聞こえてきます。スマホ等を通しての情報伝達が普通の時代になりましたが、このような時代だからこそ、直接会ってあいさつをする、話をするということが大切であると感じている今日この頃です。

【事務局（連絡先）】

電話：0267-56-1015

FAX：0267-51-3006

E-mail:

tateshina-s@pref.nagano.lg.jp